

令和2年度 千葉支部上期実施状況

目次

- **令和2年度 千葉支部の上期実施状況について（一覧表）** …… P 2
- **（1）基盤的保険者機能について** …… P 3
- **（2）戦略的保険者機能について** …… P 16
- **（3）組織・運営体制について** …… P 38
- **令和2年度 千葉支部上期KPI（重要業績評価指標）一覧** …… P 42

令和2年度 千葉支部の上期実施状況について（一覧表）

	担当グループ	重点事項	進捗状況	
(1) 基盤的保険者機能関係	業務	◇サービス水準の向上	◎	
		◆業務の標準化・簡素化・効率化の徹底	○	
		◆現金給付の適正化の推進	○	
		◇柔道整復施術療養費の照会業務の強化	○	
		◆あんまマッサージ指圧・鍼灸施術療養費の適正化の推進	○	
		◇限度額適用認定証の利用促進	○	
			◇被扶養者資格の再確認の徹底	—
	レセプト	◇効果的なレセプト点検の推進	○	
		◇無資格受診等による債権の発生防止のための広報および保険証の回収強化	△	
		◇積極的な債権回収業務の推進	△	
企画総務	◇協会けんぽオンライン資格確認業務	○		

	担当グループ	重点事項	進捗状況
(2) 戦略的保険者機能関係	保健	データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施 （インセンティブ制度評価指標関連事項）	
		◇i) 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上	△△
		◇ii) 特定保健指導の実施率の向上	△
		◇iii) 重症化予防対策の推進	△
		◆iv) コラボヘルスの推進	○
	企画総務	◆事業所単位での健康・医療データの提供や加入者の健康増進に向けた取組 （インセンティブ制度評価指標関連事項）	○
		◇①広報活動を通じた加入者等の理解促進	○
		◇②健康保険委員を通じた加入者等の理解促進	△
		◇ジェネリック医薬品の使用促進 （インセンティブ制度評価指標関連事項）	○
		◇医療データの分析に基づく効果的な取組の推進、地域の医療提供体制への働きかけ	○
		◆OJTを中心とした人材育成	○
(3) 組織体制関係	企画総務	◇費用対効果を踏まえたコスト削減等	○
		◆コンプライアンス及びリスク管理の徹底	△

《進捗状況について》

◎：当初の計画を上回るペースで進んでいる

○：当初の計画どおり進んでいる

△：当初の計画から遅れている、計画変更

※進捗状況については、原則、以下の基準により判断している

◆……取組の評価（数値が出ない又は前年度との比較ができない項目）

◇……実績（数値）の評価

(1) 基盤的保険者機能について

【運営方針】

現金給付やレセプトの審査業務などの基盤的保険者機能を盤石なものとするため、現金給付等の業務処理の標準化・効率化・簡素化を徹底する。併せて、日々の業務量の多寡や優先度に応じた柔軟な業務処理体制の定着を図り、業務の生産性の向上を目指す。

【重点事項】

担当グループ	項 目	ページ
業務グループ	サービス水準の向上	4
	業務の標準化・簡素化・効率化の徹底	5
	現金給付の適正化の推進	6
	柔道整復施術療養費の照会業務の強化	7
	あんまマッサージ指圧・鍼灸施術療養費の適正化の推進	8
	限度額適用認定証の利用促進	9
	被扶養者資格の再確認の徹底	10
レセプトグループ	効果的なレセプト点検の推進	11
	無資格受診等による債権の発生防止のための広報および保険証の回収強化	12
	積極的な債権回収業務の推進	13-14
企画総務グループ	協会けんぽオンライン資格確認業務	15

事業計画

- お客様満足度調査・お客様の声に基づく加入者・事業主の意見や苦情等に迅速に対応しサービス水準の向上に努めるとともに、現金給付の申請受付から支給までの標準期間（サービススタンダード：10日間）を遵守する。また、加入者・事業主の利便性の向上や負担軽減の観点から、郵送による申請を推奨する。

R2上期進捗状況



1. KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
①サービススタンダードの達成状況を100%とする。	100% ※R1年度実績100%	100%【±0%】 (全国平均99.5%)	100% (全国平均99.95%)
②現金給付等の申請に係る郵送化率を92.0%以上とする。	92.0% ※R1年度実績90.9%	94.8%【+5.0%】«19位» (全国平均94.7%)	89.8%«24位» (全国平均90.6%)

2. 実施状況等について

実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
SS達成に向けた進捗管理（日々）	計画	●	●	●	●	●	・サービススタンダード（SS）の達成を維持するため、管理者による日々の進捗管理を徹底した。
	実施	●	●	●	●	●	
郵送化促進広報	計画	●	●	●	●	●	・納入告知書同封チラシ等、毎月の広報物（記事）を作成する際は「申請書はすべて郵送で提出いただけます」の一文を入れ、繰り返し事業所担当者の目に触れるようにした。あわせて新型コロナウイルス感染症対策の一環として電話対応時に郵送による提出案内を徹底した。
	実施	●	●	●	●	●	
年金事務所協会窓口の閉鎖への取組	計画	●	●	●	●	●	・市川・船橋年金事務所内に設置した協会窓口を閉鎖した（閉鎖日：9/30）。閉鎖に当たっては窓口、HP、広報物など様々な手法で周知を行い、かつ、十分な期間周知に努めた結果、円滑に閉鎖を行うことができた。
	実施	●	●	●	●	●	
サービス向上計画を作成し、改善に向けた取組の徹底	計画	●	●	●	●	●	・支部全体で電話対応に関するルールを決め、お客様サービス向上に努めた。本部から提供されたCS満足度調査結果を活用した前年度の取組の効果検証、現状の課題の把握及び千葉支部サービス向上計画の策定等については、下期に実施し更なる改善に向けた取り組みの徹底を行う予定。
	実施		● 調査結果到着	● 委員会開催	● 向上計画作成		

3. 評価理由

- ・上期の現金給付（柔整を除く）の申請件数は42,603件となり、前年上期42,111件に対して、101.2%（微増）となったが、引き続きサービススタンダード100%を達成した。また、郵送率向上に向けた取り組みを徹底し、郵送化率も大幅に向上しているため進捗状況は「◎」としている。

事業計画

- 各種業務マニュアルや手順書等を遵守し、現金給付等の業務の標準化・簡素化・効率化を徹底する。併せて、日々の業務量の多寡や優先度に応じて柔軟な業務処理体制を構築することにより、業務の生産性の向上を目指す。

R2上期進捗状況



1. KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
設定なし	-	-【-】	-

2. 実施状況等について

実施項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
手順書等を遵守した日々の事務処理	計画	●	●	●	●	●	●	・個人ごとの日々の業務処理スケジュール表を作成し、進捗を管理するとともに、審査時に手順書に沿った事務処理を行っているか随時ヒアリングによる確認を行い業務の標準化を進めた。
	実施	●	●	●	●	●	●	
ジョブローテーションやOJTを通じ、多能化を進め、生産性の向上を図る	計画	●	●	●	●	●	●	・6月にジョブローテーションを実施し、審査者及び確認者の業務範囲の拡充を行った。また、あんまマッサージ指圧・鍼灸施術療養費の審査業務、柔整業務のOJTを実施し、事務処理能力の多能化を図ることができた。
	実施	●	●	●	●	●	●	
個々の事務処理能力や業務量に合わせた日々の業務運営	計画	●	●	●	●	●	●	・管理職が個々の事務処理能力を把握したうえで個人ごとに日々の業務処理件数目標を設定し、ホワイトボードで日々の進捗状況を見える化した業務運営を行った。
	実施	●	●	●	●	●	●	
支部内定例会議の開催	計画	●	●	●	●	●	●	・支部内定例会議を開催し、業務進捗報告を行った。また、新型コロナウイルス感染症への対応として業務体制運営の検討、事務取扱のルールの共有、徹底を図った。
	実施	●	●	●			●	

3. 評価理由

・上期においては、政府の緊急事態宣言を受け、千葉支部においても職員の自宅待機など、勤務体制を縮小した期間があったが、現金給付等の業務の標準化・簡素化・効率化の徹底と、優先度に応じた柔軟な業務処理を行った。また、6月にジョブローテーションを実施し、事務処理の多能化を図ることにより、超過勤務時間も大幅に削減し、上期を通じて、事務処理遅延等を起こすことなく、円滑に給付等を行うことができたため、進捗状況は「○」としている。

※超過勤務時間：令和2年4月～9月 平均1.9時間（令和1年同時期：平均9.0時間）

事業計画

- 現金給付の適正化のため、傷病手当金・出産手当金のうち、不正受給が疑われる申請について重点的に審査を行う。また、傷病手当金と障害年金等の併給調整について確実に実施する。

R2上期進捗状況 ○

1. KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
設定なし	-	-【-】	-

2. 実施状況等について

実施項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
傷病手当金等の日々の審査強化	計画	●	●	●	●	●	●	・資格取得直後の申請等不正が疑われる調査案件に対して、雇用契約書等の追加資料の提出を求め審査を強化した。また高額報酬者、3か月以上の一括請求については決裁者の再確認を行うなど審査を強化した。
	実施	●	●	●	●	●	●	
保険給付適正化プロジェクトチーム会議（PT会議）の開催 ※定期2回+随時	計画				●			・7月に保険給付適正化PT会議を開催し、傷病手当金の不正請求の疑い事案について対応方法を検討した。（疑わしい案件はあったが、結果的に問題のある事例なし）
	実施				●			
傷病手当金と障害年金等との併給調整の確実な実施	計画	●	●	●	●	●	●	・毎月提供される日本年金機構からの情報に基づき障害年金等の併給調整を行うとともに、日々の審査においても年金情報が判明した段階での調整処理を随時行った。
	実施				●	●	●	

3. 評価理由

・毎月提供される日本年金機構からの情報に基づく傷病手当金と障害年金等の併給調整について、新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応で優先順位をつけて業務を行ったため4～6月は実施できなかったが、7～9月に上期で実施すべき併給調整処理を確実に実施できたこと、また不正受給が行われやすい申請について重点的に審査を行い、事例によってはPT会議で検討するなど適正な給付を行ったことから進捗状況は「○」としている。

事業計画

- 多部位（施術箇所が3部位以上）かつ頻回（施術日数が月15日以上）の申請について、加入者に対する文書照会を強化するとともに、いわゆる「部位ころがし」と呼ばれる、負傷部位を意図的に変更することによる過剰受診に対する照会を強化する。

R2上期進捗状況



1.KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上施術の申請の割合について対前年度以下とする。	対前年度以下 ※R1年度実績：1.11%	1.17%【▲0.01%】	1.18%

2.実施状況等について

実施項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
文書照会（毎月）	計画	●	●	●	●	●	●	・多部位施術や施術日数の多い申請書について、受療者に対する文書照会を5,187件実施。加入者への適正受療にかかる啓発を文書照会に併せて行った。なお、本部提供の部位ころがしが疑われる長期施術記録データを活用した照会については、下期に実施する。
	実施	●	●	●	●	●	●	
本部データを活用した文書照会（年2回）	計画			→				
	実施							

3.その他

- 柔整審査会内に設置した面接確認委員会による不正が疑われる施術所の柔整師に対する面接については、新型コロナウイルス感染症への対応として開催を見送った。状況を見極めながら、下期から再開予定。

4.評価理由

- 柔整審査会については、十分な感染拡大対策を講じたうえで、毎月の定例開催を維持し、適切な審査を行った。併せて、加入者に対する文書照会も前年並みの件数を行った結果、KPIは前年度同月比▲0.01%となったため、進捗状況は「○」としている。

事業計画

- 受領委任制度導入により文書化された医師の再同意の確認を確実に実施するとともに不正の疑いがある案件は厚生局への情報提供を徹底する。

R2上期進捗状況 ○

1. KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
設定なし	—	—【—】	—

2. 実施状況等について

実施項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
		計画	●	●	●	●	●	
実施	●	●	●	●	●	●		

3. その他

- ・4月施術分より受領委任による請求に切り替わっているところ。引き続き、不正請求の疑いのあるケースについては厚生局への情報を適切に行う。

4. 評価理由

- ・審査事務手順書に基づく審査を徹底し、適切な申請であるかどうか審査した結果、疑義のある申請はなかった。不正防止の取り組みができたため、進捗状況は「○」としている。

事業計画

- 加入者の医療機関の窓口での負担軽減を図る限度額適用認定証の利用を促進する。具体的には、事業主や健康保険委員に対してチラシやリーフレットによる広報を実施するとともに、地域の医療機関に積極的な働きかけを行い、窓口申請書を配置していただける医療機関数を拡大し利用促進を図る。

R2上期進捗状況 ○

1.KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合を89.3%以上とする。	89.3%以上 ※R1年度実績88.0%	87.5%【+0.6%】 (全国平均78.1%) ※R2.6実績	86.9%«1位» (全国平均79.9%) ※R1.6実績

2.実施状況等について

実施項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
協力医療機関へ文書勧奨	計画	→ 利用状況の把握						・昨年度末（令和2年3月）に県内の病院252機関に対し、限度額適用認定証の案内に関する協力依頼文書と申請書を送付した。上期については、利用状況について把握し、未利用の医療機関に対して訪問による協力要請を行う予定としていたが、実施を見送った。
	実施	●	●	●	●	●	●	
限度額適用認定証の制度周知広報	計画		●	● 算定説明会	● 研修会			・広報媒体による制度の周知については、適切な時期に適切な媒体を活用できるよう年度当初に広報計画を作成しているところ。計画に基づき上期については、5月に社会保険ちば、メールマガジンを用いて周知を行った。また、申請書の配布及び案内の協力依頼文書を送付した252病院のうち、取り組みが弱い病院に対しては、電話連絡のうえ申請書を追加送付するなど協力依頼を実施した。
	実施		●					

3.評価理由

- ・上期においては、新型コロナウイルス感染症への対応のため、医療機関への訪問による協力要請を見送り広報媒体による周知のみとなったが、申請書の配布及び案内の協力依頼文書を送付した252病院のうち、取り組みが弱い病院に対して電話連絡のうえ申請書を追加送付するなど協力依頼を継続して実施したことから、KPIは前年度同月比+0.6%となったため、進捗状況は「○」としている。

事業計画

- 被扶養者資格の確認対象事業所からの回答率を高めるため、未提出事業所への勧奨による回答率の向上、未送達事業所の調査による送達の徹底を行う。

R2上期進捗状況

1.KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を92.0%以上とする。	92.0%以上 ※R1年度実績93.2%	-【-】	-

2.実施状況等について

実施項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
未送達事業所の調査	計画			●	●			・上期未実施。（令和2年10月実施に変更）
	実施							
未提出事業所への提出勧奨	計画			(下期実施予定)				-
	実施							

4.評価理由

- ・下期実施のため、評価なし。

事業計画

- 医療費の適正化を図るために資格・外傷・内容の各点検を実施する。特に内容点検については、システム点検の活用や点検員のスキルアップを目指した、レセプト内容点検効果向上計画に基づき効果的なレセプト点検を推進する。

- ◀具体的な取組▶
- ①自動点検マスタのメンテナンスを定期的実施し精度を上げて点検業務の効率化を図る。
 - ②点検員のスキルアップのために、毎月2回の支部内の勉強会や外部講師等による点検研修を実施する。
 - ③支払基金との協議を前年度同様に毎月実施し、疑義事例の解消に努める。

R2上期進捗状況



1.KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率について対前年度以上とする。	対前年度以上 ※R1年度実績0.455%	0.387%【▲0.052%】◀5位▶ (全国平均0.304%) ※R2.8実績	0.439%◀6位▶ (全国平均0.358%) ※R1.8実績

2.実施状況等について

実施項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
資格・外傷手順書に沿った日々の点検事務	計画	●	●	●	●	●	●	・資格・外傷点検手順書に基づき、点検漏れ等がないかを管理者が確認するなど、適切な点検事務を実施した。
	実施	●	●	●	●	●	●	
レセプト内容点検効果向上計画	勉強会（自動点検マスタ検討会含む）	計画	●	●	●	●	●	・レセプト点検員全員参加の勉強会を毎月2日間実施し、高点レセプトの着眼点や他支部査定事例の収集、自動点検マスタのメンテナンス検討を行った。
	実施	●		●	●	●	●	
	外部講師等を活用した点検研修の実施	計画			●		●	・下期（2～3月）実施予定。
		実施			(下期実施予定)			
支払基金との協議	計画	●	●	●	●	●	●	・毎月、担当職員とレセプト点検員で、事前に協議事例の解釈や主張内容について確認・整理を行い、支払基金との協議に臨んだ。
	実施	●		●	●	●	●	

3.その他

・令和2年8月より13支部（北海道、埼玉、千葉、東京、神奈川、岐阜、愛知、京都、大阪、奈良、兵庫、福岡、沖縄）のレセプト内容点検については、新型コロナウイルス感染防止の観点から点検員の出勤を半減しており、限られた人員で優先順位を付けて点検している。

4.評価理由

・新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応により、前年度と比べると千葉支部KPIは▲0.052%と下回っているものの、全国平均KPIの▲0.054%より下げ幅は小さい。また、全国順位は前年度の6位から5位へ上昇しており、目標達成に向けた取組を着実に実施しているため、進捗状況は「○」としている。

➤ 無資格受診等による債権の発生防止のための広報および保険証の回収強化【レセプトグループ】

事業計画

- ① 日本年金機構で実施する催告の際に支部あての返信用封筒を同封することで保険証の早期回収を図る。さらに、日本年金機構での資格喪失処理後、2週間以内に支部から一次催告、一次催告から2週間後に二次催告を行い、保険証の早期回収を図る。また、被保険者証回収不能届を活用した電話催告等を強化する。
- ② 納入告知書に同封する広報チラシや算定基礎届事務説明会等において、保険証の早期回収の重要性について事業所担当者へ周知する。
- ③ 返納金債権が多数発生する事業所及び関係団体へ文書・訪問・電話により、保険証の早期回収依頼を行う。
- ④ 資格喪失後受診の防止を周知するチラシを作成して特定健診受診券送付時に同封し、退職・扶養解除後は保険証を使用できないことについて加入者へ周知する。

R2上期進捗状況

1. KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を95.0%以上とする。	95.0%以上 ※R1年度実績92.22%	93.09%【+1.09%】<<39位>> (全国平均94.14%)	92.0%<<45位>> (全国平均93.07%)

2. 実施状況等について

実施項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
日本年金機構が実施する催告への返信用封筒の同封と電話催告	計画	●	●	●	●	●	●	・日本年金機構にて実施している保険証回収催告送付時に、切手不要の返信用封筒をすべて同封している。また、日本年金機構から回送される「被保険者証回収不能届」を基に電話・文書催告を実施。
	実施	●	●	●	●	●	●	
日本年金機構での資格喪失処理後2週間以内の一次催告の実施	計画	●	●	●	●	●	●	・資格喪失処理後、2週間以内に一次催告を実施。また一次催告後も未回収の者に対しては、2週間後に二次催告を実施。 «催告実施状況» 文書催告：一次催告10,987件、二次催告を6,776件 電話催告：529件
	実施	●	●	●	●	●	●	
チラシやHP等による広報	計画	●	●	●	●	●	●	・健康な職場づくりに向けた事業所訪問時に事業主や社会保険事務担当者に資格喪失・扶養解除後の保険証早期回収・資格喪失後受診防止のチラシを配布することで、周知・協力依頼を行った。また、下期に配付予定となる無資格受診防止の理解と周知、保険証回収率の向上を図るための啓発ポスターの作成準備や関係団体との調整を行った。
	実施	●	●	●	●	●	●	
健保委員研修会、算定基礎届事務講習会等を活用した周知	計画			●	●			・新型コロナウイルス感染症の影響で健保委員研修会、算定基礎届事務講習会等の開催は、いずれも中止となったため、未実施。
	実施							
喪失後受診が多く発生している事業所への文書等による周知	計画	●	●	●	●	●	●	・資格喪失後受診による返納金債権の発生件数の多い48事業所を選定し、保険証回収に関する協力依頼文書と従業員への配布チラシを送付し、退職時の保険証の早期回収について協力依頼を行った。
	実施						●	

3. 評価理由

・千葉支部のKPIは前年度実績をやや上回ったが、全国平均に1.05%及ばず全国順位も39位だったため、進捗状況は「△」としている。

積極的な債権回収業務の推進

事業計画

- ① 文書催告や電話催告を確実に実施し、早期回収を図る。
- ② 資格喪失後受診による返納金債権については、国保保険者との保険者間調整を債務者に周知し、保険者間調整のスキームを積極的に活用して回収に努める。
- ③ 法的手続（支払督促等）を積極的に推進し、債務名義を取得後も弁済しない者については強制執行を行い、回収を図る。
- ④ 弁護士と契約を結び、弁護士名での文書催告を継続実施する。
- ⑤ 交通事故等が原因による損害賠償金債権については、損害保険会社等に対して早期に折衝を図り、より確実な回収を図る。

R2上期進捗状況



1. KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
① 返納金債権（資格喪失後受診に係るものに限る。）の回収率を対前年度以上とする。	対前年度以上 ※R1年度実績62.47%	22.28%【▲19.85%】≪44位≫ (全国平均32.78%)	42.13%≪23位≫ (全国平均36.71%)
② 医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合を対前年度以下とする。	対前年度以下 ※R1年度実績0.095%	0.198%【+0.066%】≪47位≫ (全国平均0.095%) ※R2.7実績	0.132%≪42位≫ (全国平均0.089%) ※R1.7実績

2. 実施状況等について

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
		●	●	●	●	●	●	
現年度発生債権にかかる文書催告	計画	●	●	●	●	●	●	・初回通知発送後、一か月ごとに文書による催告を3回実施。
	実施	●	●	●	●	●	●	
保険者間調整利用促進	計画	●	●	●	●	●	●	・返納金の初回通知時および催告時に、保険者間調整の利用促進のチラシを全件同封している。また、高額な債権については電話勧奨を実施するなど、保険者間調整の利用促進に努めている。 ≪保険者間調整実施実績≫ 保険者間調整による回収額：R2年度上期 1,500万円（R1年度上期 4,140万円） 保険者間調整実施件数：R2年度上期 188件（R1年度上期 185件）
	実施	●	●	●	●	●	●	
契約弁護士名による納付催告	計画	●	●	●	●	●	●	・文書による催告を3回実施後も、なお未納である者に対しては、その一か月後に契約弁護士名による納付催告を実施。 ≪催告実施状況≫ 弁護士名催告：R2年度上期 1,041件（R1年度上期 683件）
	実施	●	●	●	●	●	●	

実施項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
法的手続及び強制執行の実施	計画	●	●	●	●	●	●	・弁護士名による文書催告等による最終催告実施後も未納となる者に対しては、簡易裁判所への支払督促申立や地方裁判所への債権差押命令申立等の法的手続を実施。 «法的手続実施状況» 支払督促申立：R2年度上期 45件（R1年度上期 4件） 債権差押命令申立：R2年度上期 13件（R1年度上期 0件）
	実施	●	●	●	●	●	●	
損害賠償金債権の早期調定・保全	計画	●	●	●	●	●	●	・回収までに一定期間を要するものについては、早期調定・保全に努めつつ、定期的に債務者や保険会社等に進捗状況を確認した。
	実施	●	●	●	●	●	●	

3. 評価理由

・資格喪失後受診に関する返納金債権の回収率は、新規返納金額の増加により、22.28%と前年度を大幅に下回った。また、医療費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金割合についても0.198%と前年度を下回っており、どちらも全国平均のKPIに及ばず全国順位も40位台だったため、進捗状況は「△」としている。

事業計画

- 協会けんぽ独自で実施しているオンライン資格確認システムの利用率向上を図る。

R2上期進捗状況 ○

1. KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
現行のオンライン資格確認システムについて、USBを配布した医療機関における利用率を50.0%以上とする。	50.0%以上 ※R1年度実績32.9%	47.6%【+21.6%】 《31位/36位中》 (全国平均54.6%)	26.0% 《32位/36位中》 (全国平均45.7%)

2. 実施状況等について

実施項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
電話による勧奨	計画	← 随時実施 →						・4月・・・3医療機関へ電話勧奨→2医療機関からUSBを回収。
	実施	●						
文書による勧奨	計画	← 随時実施 →						・取組なし
	実施							
訪問による勧奨	計画	← 随時実施 →						・訪問なし
	実施							

3. その他

・本部より現時点においてKPI（全国計）を達成できる見込みであり、今年度で終了する業務であることから医療機関の負担を配慮し、医療機関への利用勧奨を「停止」との連絡あり。

4. 評価理由

・業務終了予定であることから取組は4月までとし、5月以降は医療機関への利用勧奨等を停止しているが、対前年度同月比+21.6%となっている。KPIは未達成であるものの、利用率は大幅に上昇しており、進捗状況は「○」としている。

(2) 戦略的保険者機能について

【運営方針】

事業主と連携し、加入者の健康の維持・増進を図るほか、地域医療構想の実現に向けて、客観的データ（エビデンス）に基づく効果的な意見発信を行う。また、保険者機能アクションプランや保険事業実施計画（データヘルス計画）、医療費分析等の取組を着実に実施する。

【重点事項】

担当グループ	項目	ページ
企画総務グループ 保健グループ	データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施	17
保健グループ	i) 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上	18-20
	ii) 特定保健指導の実施率の向上	21-22
	iii) 重症化予防対策の推進	23-24
企画総務グループ	iv) コラボヘルスの推進	25-27
	事業所単位での健康・医療データの提供や加入者の健康増進に向けた取組	28
	①広報活動を通じた加入者等の理解促進	29-30
	②健康保険委員を通じた加入者等の理解促進	31-32
	ジェネリック医薬品の使用促進	33-36
	医療データの分析に基づく効果的な取組の推進、地域の医療提供体制への働きかけ	37

事業計画

上位目標：糖尿病による新規透析者の透析導入時の平均年齢を 55.7歳から60歳以上に改善する。

- 「特定健診・特定保健指導の推進」、「コラボヘルスの推進」、「重症化予防の対策」を基本的な実施事項とする第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づく取組を着実に実施する。

i) 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上

○被保険者（40歳以上）（受診対象者数：399,282人）

- ・生活習慣病予防健診実施率58.0%（実施見込者数：231,592人）、事業者健診データ取得率 6.5%（取得見込者数：25,953人）

○被扶養者（受診対象者数：104,755人）

- ・特定健康診査実施率26.0%（実施見込者数：27,236人）

【健診受診率合計】 健診実施対象者数：504,037人 実施率：56.5%（実施見込者数：284,781人）

ii) 特定保健指導の実施率の向上

○被保険者（受診対象者数：51,767人）

- ・特定保健指導実施率21.1%（実施見込者数：10,923人）

（内訳）協会保健師実施分 9.0%（実施見込者数：4,659人）、アウトソーシング分 12.1%（実施見込者数：6,264人）

○被扶養者（受診対象者数：2,315人）

- ・特定保健指導実施率9.4%（実施見込者数：218人）

【特定保健指導実施率合計】 特定保健指導対象者数：54,082人 実施率：20.6%（実施見込者数：11,141人）

iii) 重症化予防対策の推進

○未治療者に対する受診勧奨における二次勧奨実施予定人数 3,243人

iv) コラボヘルスの推進

○健康経営の普及促進

○健康な職場づくりに向けた取組

事業計画

● 健診の受診勧奨

＜被保険者＞

- ① 令和3年度に生活習慣病予防健診（40歳）及び特定健診（40歳）の対象となる加入者に対してDMによる受診勧奨を民間事業者への外部委託により実施。
- ② 年度途中で加入した新規適用事業所に対するDM送付、電話勧奨及び未受診事業所に対する電話勧奨を民間事業者への外部委託により実施。
- ③ 検診車を保有する健診機関へ働きかけを強化し、健診機関の少ない地域における健診会場の増設を図ることにより受診機会を増加させる。
- ④ 年度途中で加入した任意継続被保険者及び被扶養者に対し、DMによる受診勧奨を民間事業者への外部委託により実施。
- ⑤ 事業者健診データの取得勧奨や作成業務を健診機関及び民間事業者への外部委託により実施。
- ⑥ 関係団体への生活習慣病予防健診受診勧奨業務及び事業者健診データ取得勧奨業務委託の実施。
- ⑦ ラジオCMを活用しての健診受診勧奨の実施。

＜被扶養者＞

- ① 受診券を被保険者の住所へ直接送付。
- ② 集団健診の実施地区に在住する被扶養者に対して、集団健診DMによる受診勧奨を実施。
- ③ オプショナル健診や個人負担の検査項目の追加等を提案した協会けんぽ主催の集団健診を実施。
- ④ 集団健診が可能な健診機関への働きかけを強化し、集団健診会場の少ない地域における会場の増設を図ることにより受診機会を増加させる。
- ⑤ 市町村が実施する特定健診やがん検診との同時実施。
- ⑥ GISを活用した受診勧奨を実施。
- ⑦ 事業主と支部長の連名文書による受診勧奨を外部委託により送付件数を増加するなど拡大して実施。
- ⑧ ラジオCMを活用しての健診受診勧奨の実施

R2上期進捗状況



1. KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同期比】	R1年度上期実績
①生活習慣病予防健診実施率を58.0%以上とする。	58.0% ※R1年度実績56.2%	20.0%【▲8.8%】	28.8%
②事業者健診データ取得率を6.5%以上とする。	6.5% ※R1年度実績3.7%	1.8%【▲0.6%】	2.4%

2. 実施状況等について

実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
令和2年度健診の各種広報や健康保険委員研修会を活用した周知を実施。健診機関から前年度の利用者へ個別案内を実施。	計画	●	●	●	●	●	・新型コロナウイルス感染症の影響により研修会等の実施に影響がでたが、広報計画に基づいた広報誌やホームページ、メルマガ等の広報媒体による周知を実施。
	実施	●	●	●	●	●	
年次健診案内、随時健診案内及び令和3年度40歳となる対象者への健診案内並びに事業者健診データ取得勧奨については、外部委託も活用して実施。	計画	●	●	●	●	●	・年次・随時の健診案内を計画的に実施。事業者健診データの取得勧奨も外部委託先と調整中。40歳となる対象者への案内は下期実施予定。
	実施	●	●	●	●	●	
健診機関へ実施状況を確認し、実施率向上のための好事例を紹介。検診車を保有する健診機関へ巡回健診の実施数の増加を働きかけ。	計画			●	●	●	・新型コロナウイルス感染症拡大により、4・5月の健診が中止となった影響で、健診機関に実施状況は確認したが、好事例のヒアリングは見合わせた。また、巡回健診の上期実施増はできなかった。
	実施						
新規健診機関の公募。契約候補となる健診機関の調査。	計画	●	●	●	●	●	・新規健診機関の公募に7機関から応募あり。うち書類審査による契約候補6機関の現地調査を予定。
	実施			●	●	●	
商工会等の関係団体との協力体制を構築。	計画				●	●	・事業者健診データ提供について我孫子商工会、木更津商工会と協力した。
	実施				●	●	

3. 評価理由

・新型コロナウイルス感染症拡大で、4～5月の健診が中止となったことにより、健診実施件数や事業者健診データの提供時期に大きく影響がでており、KPIも前年度同期比で大きく落ち込んでいることから進捗状況を「△」としている。

R2上期進捗状況



1.KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同期比】	R1年度上期実績
③被扶養者の特定健診受診率を26.0%以上とする。	26.0% ※R1年度実績22.0%	6.1%【▲4.7%】	10.8%

2.実施状況等について

実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
令和2年度健診の各種広報や健康保険委員等への研修会を活用した周知を実施。	計画	●	●	●	●	●	・新型コロナウイルス感染症の影響により研修会等の実施に影響がでたが、広報計画に基づいた広報誌やホームページ、メルマガ等の広報媒体による周知を実施。
	実施	●	●	●	●	●	
年次・随時の健診案内、令和3年度40歳となる対象者への健診案内、集団健診案内については外部委託も活用して実施。	計画	●	●	●	●	●	・年次・随時の健診案内を計画的に実施。集団健診案内も外部委託を活用して実施。40歳となる対象者への案内は下期実施予定。
	実施	●	●	●	●	●	
オプション健診や個人負担の検査項目の追加等を提案できる健診機関を募集し、協会けんぽ主催の集団健診を実施。	計画				●	●	・協会けんぽ主催のオプション集団健診の実施に向け調整中。
	実施					●	
集団健診会場や市町村のがん検診会場を案内。またGIS（地理情報）を活用して自宅近くの健診機関を表示した案内を実施。	計画	●	●	●	●	●	・集団健診については、新型コロナウイルス感染症の影響による縮小や中止、会場確保も厳しい状況。市町村との同時実施も中止がでていることから、下期はGISを活用した案内対象者及び案内健診機関数を拡大し、健診機関（施設）での受診を促すようフォローを図っていく。
	実施			●	●	●	
事業主と支部長の連名文書による受診勧奨の実施。	計画			●	●	●	・新型コロナウイルス感染症の影響により事業に着手できず、年内文書発送のスケジュールが組めないことから、実施を見送り。
	実施						
ラジオCMを活用した受診勧奨の実施	計画						・下期実施予定。
	実施			(下期実施予定)			

3.その他

・オプション集団健診については、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、個人負担の検査項目（骨密度・肌年齢・血液）の実施や保健指導の初回面談同時実施は、会場で密とならないよう状況に配慮しながら、可能な限りで実施する予定。

4.評価理由

・新型コロナウイルス感染症拡大で、4～5月の健診が中止となったことにより、健診実施件数に大きく影響がでており、KPIも前年度同期比で大きく落ち込んでいることから進捗状況を「△」としている。

事業計画

● 保健指導の受診勧奨対策

<被保険者>

- ① 特定保健指導の実施機関の拡充及び民間事業者への外部委託の強化。
- ② 当日保健指導の実施機関の拡充。
- ③ ノウハウ集を活用した保健指導実施機関での対象者全員に対する保健指導実施に向けた協働事業を推進するため、幹部職員による保健指導実施機関への訪問を実施。

<被扶養者>

- ① 利用券を被扶養者の住所へ直接送付。
- ② 集団方式での健診と特定保健指導をセットで外部委託する保健指導の実施。
- ③ 外部委託特定保健指導実施機関の拡充。

ii) 特定保健指導の実施率の向上

【保健グループ】

【インセンティブ制度評価指標関連事項】

R2上期進捗状況



1. KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同期比】	R1年度上期実績
特定保健指導の実施率を20.6%以上とする。	20.6% ※R1年度実績11.7%	5.9%【▲0.4%】	6.3%

2. 実施状況等について

実施項目<被保険者の特定保健指導>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
指導機関の実施状況を確認し、実施率向上のためのアドバイスや実施数の増加を働きかけ。	計画	●	●	●	●	●	●	・新型コロナウイルス感染症防止対策を重視したため、積極的に実施数増加の働きかけはせず、実施状況の確認にとどめた。
	実施							
保健指導専門機関との契約締結。新規指導機関の公募。契約候補となる健診機関の調査。保健指導者の募集強化。	計画	●	●	●	●	●	●	・保健指導機関の新規公募については、着手できていないが、支部保健指導者については、7名欠員の状況であったが、上期は2名採用と1名育休より復帰、下期も2名採用（11月現在）と改善された。
	実施	●			●			
指導機関へのヒアリングを通して、課題・実施困難理由等を共有し、健診日当日の特定保健指導実績向上に向けた調整。	計画	●	●	●	●	●	●	・指導結果の報告が遅れている指導機関に対しヒアリングを実施。下期に実地調査を含めた対策の検討・実施を予定している。
	実施		●		●		●	
健診日当日の特定保健指導が可能な実施機関の経営層へ、ノウハウ集を活用して指導対象者全員に対する特定保健指導を実施してもらうための働きかけ。	計画	●	●	●	●	●	●	・ノウハウ集は健診施設での初回面談一括実施の内容としており、横展開1例目の実施機関では、検診車による巡回健診における分割実施のモデルとしてトラック協会の健診での実施に向けて調整している。
	実施			●	●	●	●	
実施項目<被扶養者の特定保健指導>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
利用券を被扶養者の住所へ直接送付。	計画				●	●	●	・アウトソースにより対象被扶養者へ直接送付を実施。
	実施				●	●	●	
被扶養者の集団健診会場で、健診日当日の特定保健指導を実施。	計画			(下期実施予定)				・下期に実施する協会けんぽ主催の集団健診において、保健指導の初回面談同時実施までを外部委託予定。
	実施							

3. 評価理由

・KPIで前年度同期比でマイナスとなっていることから進捗状況を「△」としている。下期は支部保健師指導者の体制も整いつつあることから、新型コロナウイルス感染症防止に最大限配慮しつつ実施件数の拡大に努めていく。

事業計画

●未治療者に対する受診勧奨における二次勧奨実施予定人数 3,243人

- ①重症の可能性の高い方に対し本部からの一次勧奨後に外部委託による二次勧奨を実施。
- ②医師会と連携を図り慢性腎不全（CKD）の疑いのある者に対し医療機関の受診勧奨を実施。
- ③被扶養者の受診者リストを基に二次勧奨域である者に対して文書勧奨を実施。
- ④被保険者の一次勧奨予備群及び被扶養者の一次・二次勧奨予備群等へ健康意識のお知らせ送付を実施。

●糖尿病性腎症に係る重症化予防事業

- ①千葉県の糖尿病性腎症重症化予防プログラムのスキームに則った取組を実施。
- ②健診実施機関及び腎臓専門医療機関と連携し、初期糖尿病患者に対する取り組みを継続的に実施。

R2上期進捗状況



1. KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を12.9%以上とする。	12.9% ※R1年度実績9.9%	10.64%【+0.15%】≪30位≫ (全国平均10.88%)	10.49%≪25位≫ (全国平均10.74%)

2. 実施状況等について

実施項目<未治療者に対する受診勧奨>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
被扶養者の健診結果を基に、高血糖・高血圧の重症域である方へ文書勧奨を実施。	計画				●	●	●	・下期に実施予定。
	実施							
被保険者及び被扶養者の健診結果を基に、要治療者の予備群層に該当する方へ、生活改善のための啓発文書を送付。	計画				●	●	●	・下期に実施予定。
	実施							
受診行動のきっかけとなる工夫を施した二次勧奨を外部委託も活用して実施。	計画	●	●	●	●	●	●	・新型コロナウイルス感染症拡大により、4・5月の受診勧奨が中止となった影響で計画に遅れが生じたが、外部委託による文書勧奨と併せた電話勧奨を実施。
	実施			●	●	●	●	
慢性腎臓病（CKD）の疑いがある方へ近隣の腎臓専門機関等をお知らせする文書勧奨の実施、及び連携できる医師会の拡大に向け働きかけの推進。	計画	●	●	●	●	●	●	・新型コロナウイルス感染症拡大により4・5月受診勧奨が中止となった影響で計画に遅れが生じたが、9月より文書勧奨を再開。
	実施						●	
実施項目<糖尿病性腎症に係る重症化予防事業>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
千葉県糖尿病性腎症重症化予防プログラムのスキームに則った取組を実施。	計画	●	●	●	●	●	●	・新型コロナウイルス感染症拡大により計画に遅れが生じたが、順次実施。
	実施			●	●	●	●	
腎臓専門医等と連携し、糖尿病性腎症患者に対する取り組みを継続的に実施。	計画	●	●	●	●	●	●	・自治体からの依頼に基づき実施予定だが、上期は依頼なし。
	実施							

3. 評価理由

・KPIは前年度同月比で上回っているものの全国平均には達しておらず、新型コロナウイルス感染症拡大により、4～5月の受診勧奨が中止となったことや、受診控えもあり、各実施項目の取組にも影響がでていることから進捗状況を「△」としている。

事業計画

- 健康経営の普及促進
 - ・事業主に対して従業員の健康度を見える化した「健康度 見える化BOOK」を継続的に作成・配布し、事業所が自社の健康課題を把握できる環境づくりを行う。
 - ・健康経営の普及促進に向けて、関係団体と連携した取組を実施する。
- 健康な職場づくりに向けた取組
 - ・支部職員が事業所訪問を行うことにより、健康経営の第1歩となる、健康な職場づくり宣言事業所数の拡大に加え、事業所の健康意識の醸成を図り、健康づくりの取組を推進する。
 - ・健康な職場づくり宣言事業所に対する協会けんぽからのフォローアップの強化を図るため、既存の取組を着実に実施するとともに、歯科健診の実施のほか、関係団体と連携した認証制度等創設の提案等、新たな取組の検討を進めていく。また、健康な職場づくり宣言事業所の健康づくり等に関する評価制度の導入を図る。

R2上期進捗状況



1.KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
設定なし	-	-【-】	-

2.実施状況等について

実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況	
健康な職場づくり宣言事業所に対する「健康度見える化BOOK」の一斉発送及び更新作業	計画		(下期実施予定)				・「健康度見える化BOOK」については、令和元年度のデータに更新を行い、令和3年2月に健康な職場づくり宣言事業所へ送付予定。	
	実施							
商工会議所等の関係団体と連携した広報の実施及び健康づくりセミナーの開催	計画						・下期に千葉県から依頼のあった広報冊子を健康な職場づくり宣言事業所へ送付予定。また、千葉県が主催する健康づくりセミナーにおいて広報紙を配布する予定。	
	実施							
健康な職場づくり宣言事業所数の拡大に向けた事業所訪問の実施	計画	●	●	●	●	●	【訪問数】29社 【宣言数】27社 ※新型コロナウイルス感染症の影響により4・5月の訪問を中止とした。	
	実施			●	●	●		
健康な職場づくり宣言事業所向け広報紙「健康times」の発行	計画		●		●		・事業所の健康づくりをサポートするため、セミナー開催や歯科健診の広報記事を掲載。事業主・事業所担当者への訴求を高めるため専用封筒を作成。	
	実施		●		●			
健康な職場づくり宣言事業所に対するフォローアップの継続実施（出張セミナー、禁煙セミナー等）	計画	●	●	●	●	●	・健康宣言事業所ポスターのデザインを一新、健康宣言事業所あて送付。 ・各種セミナーは新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインでの実施も可能とした。なお、メンタルセミナー実施5社。（R2年9月末時点）	
	実施	●	●	●	●	●		
歯科健診の実施	計画		広報開始	受付開始	実施期間		・当初6月の開始を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により9月から開始となる。なお、申込者数107名。（R2年9月末現在）	
	実施				広報・受付開始	●		
事業所の健康課題に応じたオーダーメイド型取組の実施	計画	← 随時実施 →						・2社より申込されるが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施見送りとなる。
	実施			●				
健康な職場づくり宣言事業所の評価制度の導入<<新規>>	計画	← 評価制度の検討 →						・評価項目、評価方法等について検討中。
	実施							
千葉県等の関係団体と連携した認証制度創設等、新たな取組の提案	計画	← 随時実施 →						・千葉県等へ新たな取組の提案について検討中。
	実施							

3.評価理由

・6月より事業所訪問を再開し「健康な職場づくり宣言」事業所が増加、9月より歯科健診を開始したほか、各種取組を着実に実施しているため「○」としている。

事業所単位での健康・医療データの提供や加入者の健康増進に向けた取組

【企画総務グループ】

【インセンティブ制度評価指標関連事項】

事業計画

- 事業主に対して従業員の健康度を見える化した「健康度 見える化BOOK」を継続的に作成・配布し、事業所が自社の健康課題を把握できる環境づくりを行う。【再掲】
- 関係団体と共同で加入者の健康増進に向けた取組や各種広報を行う。

R2上期進捗状況



1. KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
設定なし	—	—【—】	—

2. 実施状況等について

実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
健康な職場づくり宣言事業所に対する「健康度 見える化BOOK」の一斉発送及び更新作業【再掲】	計画			(下期実施予定)			・「健康度見える化BOOK」については、令和元年度のデータに更新を行い、令和3年2月に健康な職場づくり宣言事業所へ送付予定。
	実施						
商工会議所等の関係団体と連携した広報の実施及び健康づくりセミナーの開催【再掲】	計画						・下期に千葉県から依頼のあった広報冊子を健康な職場づくり宣言事業所へ送付予定。また、千葉県が主催する健康づくりセミナーにおいて広報紙を配布する予定。
	実施						
千葉県等の関係団体と連携した健康づくりイベントの開催や参画（健康ちば推進県民大会、がん予防展等）	計画		●			●	・新型コロナウイルス感染症の影響により予定していたイベントは全て中止となった。
	実施						

3. 評価理由

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の中止により計画変更せざるを得なかった。しかし、下期に送付予定としている「健康度 見える化BOOK」（事業所カルテ）のデータ更新準備等、実施可能な事業は着実に進めているため、進捗状況は「○」としている。

① 広報活動を通じた加入者等の理解促進

事業計画

- 医療保険制度の持続性を確保するために財政状況や健康維持の必要性について、各種広報媒体による分かりやすくタイムリーな情報発信を引き続き実施する。また、医療資源が公共性を有するものであり有限であること、医療機関への上手なかかり方等を周知広報することで、加入者の皆様の適切な受療行動の促進を図る。
- 広報の実施にあたっては、広報活動における加入者理解度調査の結果を踏まえ、対象を明確にし、ナッジ理論等を活用した広報誌を作成することで、協会の事業運営に関する関心を高め、加入者や事業主の理解促進を図る。また、関係団体と連携した効果的な広報の実施に努める。

R2上期進捗状況



1. KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
広報活動における加入者理解率の平均について対前年度以上とする。	前年度以上 ※R1年度実績41.1%	-【-】	-

※加入者理解率の調査は年度に1回となるため上期実績なし

2. 実施状況等について

実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
支部内に設置している広報委員会(年2回開催)において、広報計画や内容の検討を行う。				●			・7月に広報委員会を実施。広報計画の変更やより効果的な広報の実施に向け「ナッジ理論」について学習した。
納入告知書同封チラシ等の広報紙やホームページ、メールマガジン等で分かりやすくタイムリーな情報発信を行う。	●	●	●	●	●	●	・全事業所に送付される「けんぽだより（納入告知書同封チラシ）」は昨年度同様、訴求力を高めるためデザイン作成を専門の業者に委託。 ・令和2年9月末時点のメールマガジンの登録者数4,338名（対前年同月+899人）。なお、臨時号配信を4回実施した。
事務手続き冊子(改訂)、時機に応じた取組を広報するための卓上カレンダー、医療費適正化ポスターを作成、配布する。			●			●	・事務手続き冊子…算定基礎届説明会が中止となったため、7月に健康保険委員あてに送付。 ・医療費適正化ポスター…11月実施予定を前倒し、9月納品、10月に健康保険委員あてに配布。 ・喪失後受診・証回収ポスター…10月納品、11月配布予定。
積極的なプレスリリースの実施やミニラジオ局など各メディアへの働きかけを行う。	●	●	●	●	●	●	・新型コロナウイルス感染症の影響による支部窓口閉鎖についてプレスリリースを実施。（4/11千葉日報掲載）

3. 評価理由

・広報については、新型コロナウイルス感染症の影響による記事の変更、メールマガジンの臨時号配信など臨機応変な対応を行った。なお、広報の実施にあたってはターゲット（加入者・事業主など）を定め、タイムリーな情報発信に努めた。また、各種広報は着実に実施しているため進捗状況は「○」としている。

① 広報活動を通じた加入者等の理解促進

【企画総務グループ】

「事務手続き冊子（R2.6月改訂版）」



・例年6月の算定基礎届説明会にて配付していたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、7月に健康保険委員あてに送付。

「納入告知書同封チラシ」



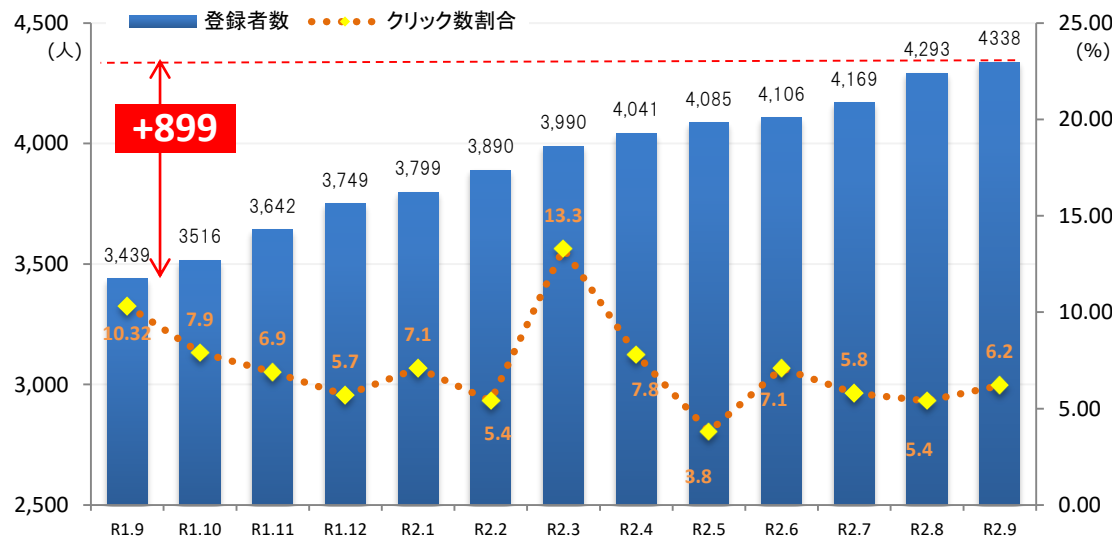
- ・毎月20日頃に送付。
- ・A4サイズ、両面。（8月のみA3両面）
- ・送付事業所数：約91,000社に送付。（R2年9月現在）

「医療費適正化ポスター」



- ・10月に健康保険委員あてに送付。
- ・A2サイズ。

「メールマガジン登録者数及びクリック数割合」



「その他広報」



- 【社会保険ちば】
- ・社会保険協会のホームページに公開、毎月上旬頃
- ・社会保険協会にて年4回冊子発行



事業計画

- 加入者にとって身近な存在となる健康保険委員の委嘱拡大を積極的に進めるとともに、研修会の開催や広報紙を通じた情報提供を充実させ、健康保険制度や健康づくりに関する理解促進を図る。

R2上期進捗状況

1.KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

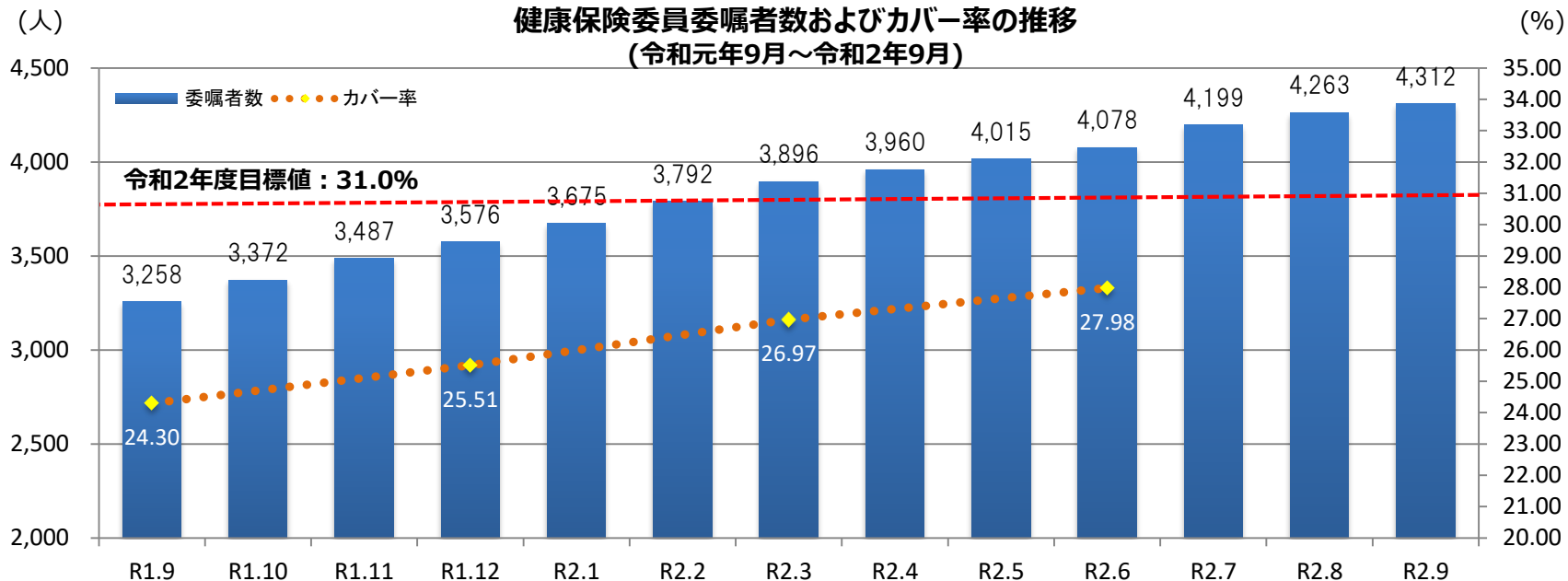
項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
全被保険者に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を31.0%以上とする。	31.0% ※R1年度実績26.97%	27.98%【+4.96%】《46位》 (全国平均42.77%) ※R2.6実績	23.02%《46位》 (全国平均39.66%) ※R1.6実績

2.実施状況等について

実施項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
新規適用事業所向け勧奨	計画					●		・7月以降は適用年月日に関わらず、本部提供リストより未登録事業所への随時勧奨を実施。実績については、下記既存事業所向け勧奨に記載。
	実施				●	●	●	
既存事業所向け勧奨	計画	●	●	●	●	●	●	・被保険者数10～29名 事業所…147（委嘱数）/1,659（勧奨数） ・被保険者数30～49名 事業所…176（委嘱数）/1,637（勧奨数） ・被保険者数50～99名 事業所…50（委嘱数）/548（勧奨数） ・被保険者数100名～ 事業所…27（委嘱数）/301（勧奨数）
	実施	●	●	●	●	●	●	
健康保険委員向け広報紙の発行	計画	●			●			・4月…保険料率、医療費の動向、健康保険委員研修会について、γ-GTPについて ・7月…ジェネリック医薬品推進月間、要治療・要精密検査へのお知らせ、血糖について
	実施	●			●			
研修会、表彰式の開催	計画				●			・新型コロナウイルス感染症の影響により第21回研修会（7月開催）中止。第22回研修会（3月開催予定）については協議中。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により表彰式中止。11月中に訪問にて表彰。
	実施				開催中止			
訪問による勧奨	計画	← 随時実施 →						・事業所訪問時に併せて勧奨を実施。21（委嘱数）/30（勧奨数）
	実施			●	●	●	●	

3.評価理由

・新型コロナウイルス感染症拡大による研修会の中止、事業所訪問の自粛、健康保険委員表彰式の開催中止といった影響はあるものの、コンスタントに郵送による健康保険委員の勧奨を行った。しかし、R2年度の目標である31.0%とは、まだ乖離しているため進捗状況は「△」としている。



※令和2年7月～9月末のカバー率については、現在、本部において集計中のため未掲載。

「健康保険委員向け広報紙」

収縮圧 (mmHg)	拡張圧 (mmHg)	分類
100未満	100未満	正常血圧
100以上	100以上	高血圧
160以上	100以上	重症高血圧

【協会けんぽちば】
4・7・10・1月発行

・A3両面二つ折り

事業計画

- 各地域のジェネリック医薬品の使用促進に係る阻害要因を数値化したジェネリックカルテ等の分析を行う。
- 上記分析結果を踏まえ、医療提供側への働きかけとして、個別の医療機関・調剤薬局を積極的に訪問するとともに、見える化ツールを活用し、効果的なアプローチを行う。
- 加入者に対する働きかけを効果的に行うため千葉県内の保険者等と連携し、ジェネリック医薬品に関する理解を深めるための公共交通機関やマスメディアを活用した広く訴求力のある広報の実施や軽減額通知の同時期発送といったオール千葉体制の取組を進めていく。

R2上期進捗状況



1. KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
協会けんぽのジェネリック医薬品使用割合を80.5%以上とする。	80.5% ※R1年度実績79.3%	79.2%【+2.7%】<<23位>> (全国平均78.5%) ※R2.7実績	77.1%<<22位>> (全国平均76.5%) ※R1.7実績

2. 実施状況等について

実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
電車中吊り、新聞、ラジオ広告をはじめとした各種広報の実施<<一部新規>>	計画	●	●	●	●	●	・ジェネリック医薬品推進月間となる8月を中心に以下の広報を実施。 ・電車中吊り（8/17～30：中央総武線各駅停車）、京葉線レインチャンネル（8/24～30）、地元紙（8/24：千葉日報）、チバテレビCM（8/17～30）、ラジオ（ベイエフエム）、WEB、広報紙、メルマガ。 ※一部の広告については千葉県、健康保険組合連合会千葉連合会、千葉県薬剤師会と連名で実施。
	実施	●	●	●	●		
医療機関別・薬局別ジェネリック医薬品使用割合通知の送付	計画				●		・8月に県内医療機関283軒、保険薬局2,319軒に対し送付。
	実施				●		
病院・薬局への訪問勧奨	計画	●	●	●	●	●	・9月に1医療機関及び近隣3薬局へ訪問を実施。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により4・5月の訪問は中止。
	実施					●	
ジェネリック医薬品軽減額通知の発送（本部実施）	計画				●	●	・8月に千葉支部加入者93,862名に対し送付。
	実施				●		
後発医薬品安心使用促進協議会等での意見発信	計画						・開催に関して未定。
	実施						

3. 評価理由

・ジェネリック医薬品の使用促進については、8月のジェネリック医薬品推進月間を中心に加入者向けに充実した広報を実施した。また、新型コロナウイルス感染症の影響で停止していた医療機関及び薬局への訪問による勧奨を再開するなど、状況を考慮しながら各種取組を実施していることから、進捗状況は『○』としている。

「令和2年8月のジェネリック医薬品広報実施状況」

【電車中吊り広告（8月）】 ※JR総武線各駅停車で実施（8/17～8/30）



【千葉日報（R2.8.24掲載）】



- ・千葉県や健康保険組合連合会千葉連合会、千葉県薬剤師会と連名での広報を実施。
- ・このほかにラジオCM（パイエフエム）やテレビ広告（千葉テレビ）、WEBバナー広告等や各種広報紙、メルマガで広報を実施。令和3年2月も各種広報を実施予定。

「お薬手帳カバー」



「ジェネリック医薬品軽減額通知」

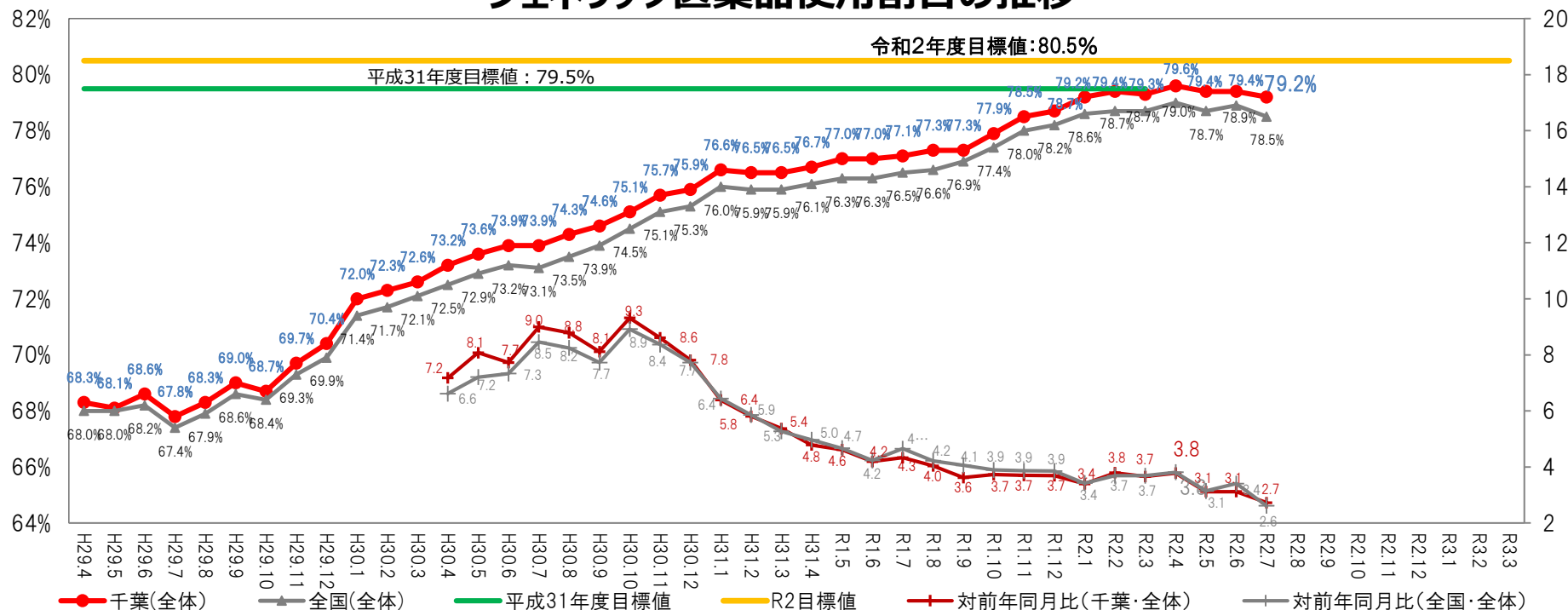


- ・通知、リーフレット等は本部作成。
- ・令和2年8月実施。千葉支部では93,862名に送付。
- ・なお、令和3年2月にも実施予定。

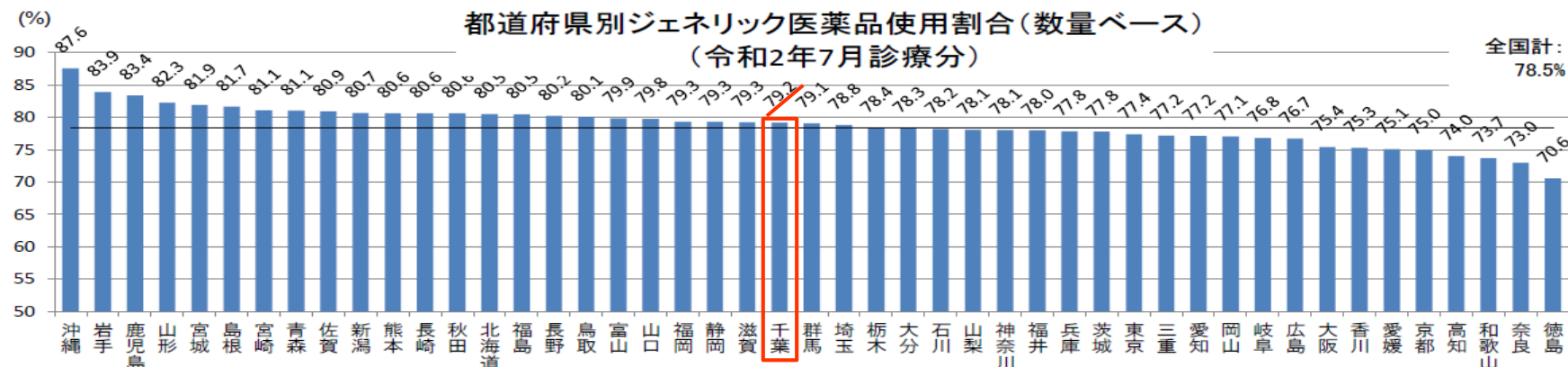
- ・千葉県薬務課および千葉県薬剤師会と連名。
- ・千葉県内保険薬局にて協会けんぽ加入者を中心に配付。

【インセンティブ制度評価指標関連事項】

ジェネリック医薬品使用割合の推移



都道府県別ジェネリック医薬品使用割合(数量ベース) (令和2年7月診療分)



(注1) 出典：協会けんぽジェネリック月報。
 (注2) 協会けんぽ(一般分)の内科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。(ただし、電子レセプトに限る) なお、DPCレセプトについては、直接の診療報酬請求の対象としていないコーディングデータを集計対象としている。
 (注3) 「数量」は、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えたものをいう。
 (注4) 都道府県は、加入者が適用されている事業所所在地別に集計したものである。
 (注5) [後発医薬品の数量] / [後発医薬品のある先発医薬品の数量] + [後発医薬品の数量] で算出している。医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。

事業計画

- 医療費分析を行い、地域の課題を明らかにするとともに効果的な取組の企画・立案を図る。
- 協会の各種事業に資するため、地域ごとの診療行為別の標準化レセプト出現比（SCR）を分析するためのツール等を活用し、適切な医療機能の分化連携に向けた意見発信のための分析を行う。
- 地域における効率的かつ充実した医療提供体制の構築に向けて、地域医療構想調整会議や医療審議会等の各種会議において被用者保険の保険者の立場から意見発信を行う。また、加入者や事業主の皆様に向けた情報提供についても併せて実施する。

R2上期進捗状況



1. KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
①他の被用者保険者との連携を含めた、地域医療構想調整会議への被用者保険者の参加率100%を維持する。	100% ※R1年度実績100.0%	100%【±0%】	100%◀1位▶
②「経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベース」などを活用した効果的な意見発信を実施する。	—	—	—

2. 実施状況等について

実施項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
		千葉支部における医療費分析の実施		●	●	●	●	
地域医療構想調整会議等、県などが主催する会議において被用者保険の保険者の立場からの意見発信	計画		●	●	●	●	●	・新型コロナウイルス感染症の影響により、各会議において書面開催。
	実施				●		●	
加入者・事業主への情報提供	計画						●	【4月】健康保険委員向け広報紙に、協会けんぽ千葉支部の市町村別休日・時間外受診割合について掲載し、情報提供した。 【9月】健診受診と退職の相関性について分析を実施。
	実施	●					●	

3. 評価理由

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、書面開催が中心となっているが被用者保険者として参加率100%は達成している。進捗状況は「○」としている。

(3) 組織・運営体制について

【運営方針】

保険者機能の基盤となる支部の組織体制について、標準人員に基づき、生産性の向上を見据えた、弾力的な人員配置の実施を適正に行うとともに、OJTを中心に据えた各種研修の充実により、人材育成を図る。

【重点事項】

担当グループ	項目	ページ
企画総務グループ	OJTを中心とした人材育成	39
	費用対効果を踏まえたコスト削減等	40
	コンプライアンス及びリスク管理の徹底	41

事業計画

- OJTを中心としつつ、効果的に職員研修等と組み合わせることで組織基盤の底上げを図り、主体的かつ自主的に業務遂行する自己管理意識の高い人材の育成に努める。

R2上期進捗状況 ○

1.KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
設定なし	－	－【－】	－

2.実施状況等について

実施項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
新入職員支部内研修の実施	計画	●	●	●	●	●	●	・採用後6ヶ月間、支部内の企画総務、保健、業務及びレセプトの各グループにおいてOJTを実施。
	実施	●	●	●	●	●	●	
支部必須研修の実施	計画			(下期実施予定)				・11月実施予定のビジネススキル研修を皮切りに、3月までの間に6研修を順次、実施予定。
	実施							
支部独自研修の実施	計画	●	●	●	●	●	●	・支部としてシリーズ化した「働く力を伸ばす研修」と「協会の価値を知る研修（6回継続もの）」の実施。今年度共通テーマは人材育成（現場で育てる）。 ・スタッフ対象の「協会の価値を知る研修（対話力向上勉強会）」では、職員同士の関係性について対話により考えを深める。 ・8月の主任以下対象「働く力を伸ばす研修」では、ワークショップを組み込みOJTスキルや教わる側の心情を体感的に理解する。 ・主任以下「働く力を伸ばす研修」の内容とリンクして、7月からグループ長補佐を対象に「働く力を伸ばす研修（役割考察プログラム）」を実施。役割認識強化とマネジメント行動の検討、具体的な計画をたてる。
	実施	●	●	●	●	●	●	
事業所訪問等を通じたOJTの実施	計画	●	●	●	●	●	●	・新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問事業所数・訪問職員数を抑え実施したため、OJTとしては新入職員に対し7月の1回のみ実施。
	実施				●			

3.評価理由

- ・事業所訪問に関しては、主任以下の事業所訪問未経験職員に対しての人材育成を図ることができなかったが、新入職員に対するOJTや支部独自研修を計画的に実施し資質向上を図ることができたため、「○」と評価した。

事業計画

- 調達における競争性を高めるため、一者応札案件の減少に努める。
- 参加が予想される業者に広くPRを行う等周知に努める他、十分な公告期間や履行期間を設定することにより、多くの業者が参加しやすい環境を整備する。
- また、一者応札となった入札案件については、入札説明書を取得したが入札に参加しなかった業者に対するアンケート調査等を実施し、次回の調達改善につなげる。

R2上期進捗状況 ○

1.KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
一般競争入札に占める一者応札案件の割合について、20%以下とする。 前年度において20%以下となった場合は前年度以下とする。	20%以下 ※R1年度実績36.4%	8.0%【▲62.0%】 (1件/12件中)	70.0% (7件/10件中)

2.実施状況等について

実施項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
公告期間及び履行期間の設定、業者への周知、アンケート調査結果を踏まえた見直し等	計画	●	●	●	●	●	●	・事業グループと連携し余裕を持った公告期間や履行期間の設定を行うとともに、過去に実施した業者や他支部において同様の事業について落札した業者へ声掛けを実施。
	実施	●	●	●	●	●	●	

3. 評価理由

・昨年度については、例年入札を行い契約している案件について一者応札となる事例があったが、令和2年度上期については9月末現在で1案件であるため「○」と評価した。

コンプライアンス及びリスク管理の徹底

事業計画

- 法令等規律の遵守（コンプライアンス）について、朝礼や職員研修等を通じてその徹底を図る。また、個人情報保護や情報セキュリティについて、各種規程等を遵守するとともに各種ファイルが適切に管理されているか毎月点検するなど、リスク管理体制の徹底を図る。

R2上期進捗状況

1.KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について

項目	R2年度目標	上期実績【対前年度同月比】	R1年度上期実績
設定なし	－	－【－】	－

2.実施状況等について

実施項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	取組状況
朝礼等を活用したコンプライアンスへの意識啓発	計画	●	●	●	●	●	●	・各グループにおいて、朝礼時に行動規範やコンプライアンスマニュアル等の復唱を行い、継続的に意識啓発を図っている。
	実施	●	●	●	●	●	●	
自主点検の実施	計画		●			●		・昨年8月の本部監査室による内部監査で指摘された事項を中心に自主点検を行い、改善状況を確認したが、支部独自で行う予定であった8月の自主点検は実施できなかった。
	実施		●					
ファイル保存状況の各種点検の実施	計画	●	●	●	●	●	●	・毎月、職員のPCを点検しパスワード設定や各種ファイルの管理状況等の確認を行い、職員の意識向上を図っている。
	実施	●	●	●	●	●	●	

3.その他

- ・9月に「コンプライアンス委員会」及び「個人情報保護管理委員会」を開催し、ハラスメントアンケート結果に基づく支部の実態を情報共有した。

4.評価理由

- ・8月に実施を計画していた支部独自による自主点検が実施できなかったこと、及び8月の本部監査室による内部監査において、担当者の認識誤りによる報告遅延など、軽微ではあるが要改善となった事項により「△」と評価した。

令和2年度 千葉支部上期KPI（重要業績評価指標）一覧

（1）基盤的保険者機能関係

担当G	重点事項 KPI（重要業績評価指標）	R2年度			R1年度					
		上期			上期			年度末		
		千葉支部		全国平均	千葉支部		全国平均	千葉支部		全国平均
		実績 (対前年同月比)	順位	実績 (対前年同月比)	実績	順位	実績	実績	順位	実績
業務G	◆サービス水準の向上									
	①サービススタンダードの達成状況を 100% とする。	100% (±0%)	—	99.50% (▲0.45%)	100%	—	99.95%	100%	—	99.98%
	②現金給付等の申請に係る郵送化率を 92.0%以上 とする。	94.8% (+5.0%)	19位	94.7% (+4.1%)	89.8%	24位	90.6%	90.9%	21位	91.1%
	◆柔道整復施術療養費の照会業務の強化									
	柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 <small>の施術の申請の割合について対前年度以下とする。</small>	1.17% (▲0.01%)	—	—	1.18%	—	—	1.11%	36位	1.12%
	◆限度額適用認定証の利用促進									
高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合を 89.3%以上 とする。	87.5% (+0.6%) <small>※R2.6実績</small>	—	78.1% (▲1.8%)	86.9%	—	79.9%	88.0%	1位	81.2% <small>※R1.6実績</small>	
◆被扶養者資格の再確認の徹底										
被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を 92.0%以上 とする。	—	—	—	—	—	—	93.2%	16位	91.3%	

担当G	重点事項 K P I (重要業績評価指標)	R2年度			R1年度					
		上期			上期			年度末		
		千葉支部		全国平均	千葉支部		全国平均	千葉支部		全国平均
		実績 (対前年同月比)	順位	実績 (対前年同月比)	実績	順位	実績	実績	順位	実績
レセプトG	◆効果的なレセプト点検の推進									
	« K P I » 社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率について 対前年度以上 とする。	0.387% (▲0.052%) <small>※R2.8実績</small>	5位	0.304%	0.439% <small>※R1.8実績</small>	6位	0.358%	0.455%	5位	0.362%
	◆無資格受診等による債権の発生防止のための広報および保険証の回収強化									
	« K P I » 日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を 95.0% 以上とする。	93.09% (+1.09%)	39位	94.14%	92.00%	45位	93.07%	92.22%	41位	93.04%
	◆積極的な債権回収業務の推進									
	« K P I » ①返納金債権(資格喪失後受診に係るものに限る。)の回収率を 対前年度以上 とする。 ②医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合を 対前年度以下 とする。	22.28% (▲19.85%)	44位	32.78%	42.13%	23位	36.71%	62.47%	23位	54.11%
	0.198% (+0.066%) <small>※R2.7実績</small>	47位	0.095%	0.132% <small>※R1.7実績</small>	42位	0.089%	0.095%	39位	0.082%	
企画総務G	◆協会けんぽオンライン資格確認業務の実施									
	« K P I » 現行のオンライン資格確認システムについて、U S Bを配布した医療機関における利用率を 50.0% 以上とする。	47.6% (+21.6%)	31位 /36位中	54.6%	26.0%	32位 /36位中	45.7%	32.9%	32位 /36位中	47.3%

(2) 戦略的保険者機能関係

担当 G	重点事項 K P I (重要業績評価指標)	R2年度			R1年度					
		上期			上期			年度末		
		千葉支部		全国平均	千葉支部		全国平均	千葉支部		全国平均
		実績 (対前年同期比)	順位	実績 (対前年同期比)	実績	順位	実績	実績	順位	実績
保健 G	◆データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施 (インセンティブ制度評価指標関連事項)									
	i) 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上 (インセンティブ制度評価指標関連事項)									
	≪ K P I ≫									
	①生活習慣病予防健診実施率を 58.0% 以上とする。 (実施見込者数：231,592人)	20.0% (▲8.8%)	—	—	28.8%	—	—	56.2%	24位	52.3%
	②事業者健診データ取得率を 6.5% 以上とする。 (取得見込者数：25,953人)	1.8% (▲0.6%)	—	—	2.4%	—	—	3.7%	43位	7.6%
	③被扶養者の特定健診受診率を 26.0% 以上とする。 (実施見込者数：27,236人)	6.1% (▲4.7%)	—	—	10.8%	—	—	22.0%	43位	25.5%
	ii) 特定保健指導の実施率の向上 (インセンティブ制度評価指標関連事項)									
	≪ K P I ≫ 特定保健指導の実施率を 20.6% 以上とする。 (実施見込者数：11,141人)	5.9% (▲0.4%)	—	—	6.3%	—	—	11.7%	43位	17.7%
iii) 重症化予防対策の推進 (インセンティブ制度評価指標関連事項)										
≪ K P I ≫ 受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を 12.9% 以上とする。	10.64% (+0.15%)	30位	10.88%	10.49%	25位	10.74%	9.90%	34位	10.5%	

担当 G	重点事項 K P I (重要業績評価指標)	R2年度			R1年度					
		上期			上期			年度末		
		千葉支部		全国平均	千葉支部		全国平均	千葉支部		全国平均
		実績 (対前年同月比)	順位	実績 (対前年同月比)	実績	順位	実績	実績	順位	実績
企画 総務 G	◆ 広報活動を通じた加入者等の理解促進 « K P I » 広報活動における加入者理解率の平均について 対前年度以上 とする。	-	-	-	-	-	-	41.1%	45位	45.6%
	◆ 健康保険委員を通じた加入者等の理解促進 全被保険者に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を 31.0% 以上とする。	27.98% (+4.96%) ※R2.6実績	46位	42.77%	23.02% ※R1.6実績	46位	39.66%	26.90%	46位	42.30%
	◆ ジェネリック医薬品の使用促進 (インセンティブ制度評価指標関連事項) « K P I » 協会けんぽのジェネリック医薬品使用割合を 80.5% 以上とする。	79.2% (+2.1%) ※R2.7実績	23位	78.5%	77.1% ※R1.7実績	22位	76.5%	79.3%	24位	78.7%
	◆ 医療データの分析に基づく効果的な取組の推進、地域の医療提供体制への働きかけ « K P I » 他の被用者保険者との連携を含めた、地域医療構想調整会議への被用者保険者の参加率 100% を維持する。	100.0% (±0%)	1位	-	100.0%	1位	-	100.0%	1位	83.7%

(3) 組織・運営体制関係について

担当 G	重点事項 K P I (重要業績評価指標)	R2年度			R1年度					
		上期			上期			年度末		
		千葉支部		全国平均	千葉支部		全国平均	千葉支部		全国平均
		実績 (対前年同月比)	順位	実績 (対前年同月比)	実績	順位	実績	実績	順位	実績
企画 総務 G	◆費用対効果を踏まえたコスト削減等									
	« K P I » 一般競争入札に占める一者応札案件の割合について、 20% 以下とする。前年度において20%以下となった場合は前年度以下とする。	8.0% (▲62.0%)	—	—	70.0%	—	—	36.4%	38位	26.2%